

園名

大分いちごこども園

事例分類

休憩時間の確保

■サマリー：クラス担当から全園児担当の意識改革で休憩時間を確保する

課題

午睡時の見守りや、連絡帳記入、事務仕事等で休憩時間の確保が難しい。また、職員室は事務作業等をしている職員がいるので休憩しにくい。

目標

①職員の休憩時間（ノンコンタクトタイム）を確保する。
②落ち着いて休憩できる場所の確保をし、リラックスできる環境、そこに行きたくなる様な環境に整える。

成果

①全員が毎日とまではいかないが、30分単位の休憩時間が、取れるようになってきつつある。だが、毎日確保できる様な更なる改善や工夫が必要。
②基本的に休憩する為の場所については確保できた。

課題の意図・詳細説明

4月当初は余裕のあった職員配置が、産休・育休・欠勤などで状況が変わり、職員一人一人の役割分担や勤務体制などに変化が生じた。

目標の意図

ノンコンタクトタイムにより、気持ちのリセットや気分転換ができる。
同じ空間に事務作業などを行っている職員がいると、休憩したくても気を遣うので、休憩場所と事務仕事をする場所を分ける。
座ってくつろげる、また飲み物やお菓子などがあるとその空間に行きたいと思うようになる。同時に休憩時間を通して職員間のコミュニケーションも取れるようになる。

具体的な取り組み 12月

午睡時間に、申し送り終了後14時～15時の間で担任と副担任が交代で意識して休憩を取る様にとしたが、発表会という大きな行事を翌月に控え、結局休憩の確保ができずに終わってしまった。

具体的な取り組み 1月

職員室を全面改装し休憩のための空間にする事が決定。
改装工事の業者と改装内容を検討、決定。

具体的な取り組み 2月

業者による職員室の改装工事完了。コーヒーマーカーなどの必要備品検討、納品待ち。

また、これまで確保していた事務時間を休憩時間も含むとし、午睡時間に限らず夕方までの時間を含めて時間割で休憩する職員を割り当て、一覧表で掲示。この一覧表掲示により、割当の時間を各自気兼ねなく自由に使える様になってきている。だが、欠勤者がいると急遽取れなくなる等の状況は変わらない。

また、一人あたり**30分**が限界。